大型店に取り囲まれた小さく元気な商店街の活性化

サンサン青山さん通り商店街振興組合

機関名	サンサン青山さん通り商店街振興組合		
所在地	岩手県盛岡市青山３丁目２７－１４		
電話番号	０１９－６４６－６２８３		
地域概要	(1)管内人口　２　万人	(2)管内商店街数　５　商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数　１　商店街	(2)会員数　４０　商店	
	(3)空店舗率　５　%	(4)大型店空き店舗　－　店	
商店街の類型	1.超広域型商店街　2.広域型商店街　3.地域型商店街　4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 13 年度　　空き店舗対策事業　　実験店舗での展示販売（アウトレット）
　　総事業費　　１２，０７８千円

【事業実施内容】

１．　背景

当商店街は、岩手県の県庁所在地の盛岡市西部にあり、5 分もあれば歩いて通り抜けてしまうほどの小さな商店街である。当商店街の周囲には多数の大型店が存在することから、盛岡市内でも屈指の商業激戦地である。

大型店の相次ぐ進出などにより、当商店街でも空き店舗の増加や売り上げの減少など大変厳しい状況にある。空き店舗数は現在 2 店舗あり、今後も増加することが見込まれている。また、年間販売額の推移についても年々減少しており、商店街の活力低下が危惧されてきた。

さらに、活力低下により商店街の機能を失うことは、商業機能のみならず文化や環境等にあらゆる障害が起こることも予想される。

盛岡市の位置

一方では、消費者も近隣商店街には賑わいや情報発信の機能を求めており、これらの状況に対応し、活力ある商店街づくりが必要である。

２.事業内容

（１）事業の目的と経緯

本事業は、相次ぐ大型店の進出などにより、空き店舗の増加や売上の減少、空き店舗の増加傾向の中で、近隣型商店街であるサンサン青山さん通り商店街の機能強化と厳しい商業環境への対応、また、新たな流通ルートなどの創出のため実施したものである。本事業は空き店舗を活用し、平成 13 年 6 月 30 日から平成 14 年 3 月 15 日までの期間、周辺地域で生産された工業製品、農産物、工芸品等を紹介、販売することにより、商店街への来街を図り、地域経済や新商品の創出による活性化を図ることを目的とした。

(２)店舗の名称と概要

①店舗の名称　　「ＡＢＣ（えびす）村・サンサン市場」

②ＡＢＣ村の場所　　盛岡市青山三丁目 2－11　（旧マルコン家具店）

③建物　　3 階建て

（３）サンサン市場（店舗）　　（1 階部分）約６６㎡

①営業時間：１１：00～20：00

②定休日：毎週木曜日（お盆、年末年始休業）

③従業員：4 名（シフト勤務制）

④委託販売方式（手数料 20%）

（４）文化交流フェア（英会話教室）　　（２階部分）約５０㎡

（５）組合事務所、倉庫　　（３階部分）約５０㎡

（６）店舗で販売する商品

①普段商店街で買えない商品や生産量の少ない商品

②アウトレット商品

③特色のある商品

無農薬野菜、手作り駄菓子、乳製品、蜂蜜、クラフト製品〈ストラップ、マスク等〉

④駄菓子

試行錯誤を繰り返す中で、子どもを対象とした商品構成がないとの判断から駄菓子を導入し、子どもの人気を集めた

（７）イベント

イベントを展開するなど、多くの動員を図る計画とし、来街者並びに出展者の交流や地域の活性化に役立つ店づくりを目指した

①イベント内容

6 月 30 日　　開村式（オープニングイベント）

12 月 1 日　　第１回ＡＢＣ村村長杯バトルゴマ大会

12 月 15 日　　第 2 回ＡＢＣ村村長杯バトルゴマ大会/餅つき大会

1 月 12 日　　第 3 回ＡＢＣ村村長杯バトルゴマ大会/甘酒振る舞い

3 月 16 日　　第 4 回ＡＢＣ村村長杯バトルゴマ大会

（８）広告宣伝

広告宣伝にあたり、チラシを作成し地域をサンサン青山さん通り商店街周辺に限定して配布しイベント等のＰＲを行った。

商店街のホームページも積極的に活用し、ＡＢＣ村の催事等の情報を発信した。

2001年12月1日（土）13時
第１回ＡＢＣ村村長杯バトルゴマ大会開催終了

さる12月1日土曜日、あなたは何をしていましたか？きっと覚えていらっしゃるに違いありません。南では官様がご誕生、皆様テレビに打づけ、微笑みに包まれた、あの日の午後です。この日、北は盛岡ABC村も新しい王者が誕生しました。13時過ぎに始まった第1回ABC村村長杯バトルゴマ大会、たまり場に集まった若者たちの熱気と雄叫びにお母さんも興奮、「お兄ちゃん、がんばれ！」と妹さんの声援もこだましました。並み居る強敵を抑え、決勝へとコマを進めたのは、ケンタとショー。熱戦を制し、栄えある初代チャンピオンの座についたのはショーくんでした。決勝で惜しくも涙を飲んだケンタくん、君はたった1回負けただけ。2人に負けた君たちケン達、君たちもたった1回負けただけ。

次の戦いは12月15日土曜午後、受付開始は13時、あの場所であいつが待っている。

▲こんなに集まっちゃいました。　▲ABC村村長に昼の寄る僕手たち。　▲結果がでました。

商店街ホームページより

空き店舗を核に　盛岡の青山
2001年6月29日岩手日報社（ホームページより）

盛岡市青山3丁目のサンサン青山さん通り商店街振興組合（鹿志村武男理事長）は30日、空き店舗を利用した「ABC（えびす）村」をオープンする。目玉は1階部分の食料品や工芸品をそろえた「サンサン市場」。大型店の影響で郊外の商店街にも空洞化の影響が出る中、地域特性を生かした品ぞろえを武器に、巻き返しを図る。　同商店街は約180メートルの通りに55店が並ぶ。ここ数年、同地区周辺は大型店の出店が相次ぎ売り上げの減少などで現在3店が空き店舗の状態。

同店舗も以前は家具店だったが、大型家具店の影響と経営者の高齢を理由に2年前に閉店。組合内で「活性化のために活用できないか」と検討を重ねてきた。

計画は商店街活性化等モデル事業として実現。総事業費1100万円で、国、県が3分の2の700万円を補助。市が120万円、残りを商店街が負担する。

サンサン市場では、近くに森永乳業などの工場が立地する特徴を生かし、牛乳やアイスクリームなどの乳製品を販売。はちみつの量り売りや駄菓子など、これまで商店街になかった商品を並べる。

さらに革製品や竹細工などの工芸品や、その日の朝に採れた野菜の販売も行う予定だ。将来は、企業の試作品や規格外商品、各商店の在庫などを集めた「アウトレットショップ」を目指す。

30日は、同商店街の他例行事「よ祭り」に合わせてオープニングセレモニーを開催。ABC村村長となる商店従業員の丸山宗さん（33）夫妻の路上結婚式やバンド演奏を行う。

同商店街の鹿志村男専務は「地域の活性化のために、企業も同じ住民だという意識が大切。工場や各商店を巻き込んで地元の交流拠点にしたい。ABC村の運営は若者が中心。後継者育成の意味でも成功させたい」と抱負を語る。

【写真＝30日の開店に向けて準備が進むABC村の店舗＝盛岡市青山3丁目】

商店街のホームページも積極的に活用し、ＡＢＣ村の催事等の情報を発信した。

（９）事業実施体制

事業の実施にあたり、盛岡市、県意を、指導団体、商店街振興組合などで組織する体制を整備し効率的な運営を図っていく計画であり、県、市及び指導団体と商店街振興組合が一体となって事業を進めてきた。

《事業委員会等の開催実績》

①委員会 2 回開催
（H13,H14 ）

②作業部会 19 回開催
（H13,H14）

【　効　果　】

事業効果としては、下記の点が認められた。

- 商店街に話題性を提供した。
- 地域消費者に対して特色のある商品等を提供し、消費者利便性を向上させた。
- 地域の小学生等に集いの場、遊び場を提供し、商店街の賑わいづくりに寄与した。
- 空き店舗を活用したことで、商店街の賑わいづくりに寄与した。

【課題・反省点】

地域の野菜が豊富な時期は商品も充実していたが冬場は商品が少なく、新しい商品確保が課題である。

【　教　訓　】

従来の商店街にある業種や商品となるべく重複しないように配慮しながらの委託商品の選定に手間隙がかかった。

【関　連　ＵＲＬ】

サンサン青山さん通り商店街振興組合　http://www.sansan.or.jp/

ホームページ上でのＡＢＣ村紹介

ＡＢＣ村オープニングセレモニーでの路上結婚式